

## 授業について、異文化体験について

看護1年 121010 遠藤汐理

### 1、はじめに

9月17日から9月21日の5日間、高麗大学校保健科大学短期海外研修として韓国にいきました。1日目は仁川国際空港につき、ロッテ免税店にいきました。2日目はミソドル老人病院に訪問しました。3日目は高麗大学校のキャンパスを案内してもらい、その後、放射線の授業を受けました。4日目は異文化理解として、昌徳宮、明洞にいきました。

### 2、授業について

はじめで述べたとおり、3日目は高麗大学校で放射線学部3年生の科目の「放射線治療計画」という授業を受けました。教室には二人一組の机があり、一人一台パソコンが設置してありました。とても整った設備で驚きました。授業はすべて英語であり、スクリーンを使った授業方式でした。授業の内容は、ガンを放射線を使って消しますが、放射線をがん以外の正常な組織に極力あてず壊さないようにするために、放射線をいろんな角度からあてることによって軽減するという内容の授業でした。



### 3、異文化体験について

4 日目に昌徳宮にいきました。昌徳宮は 1405 年に太宗(3 代王)が建てた朝鮮王朝第二の王宮です。初めは法宮（王が住む第一の宮廷）である景福宮に引き続き離宮として創建されましたが、以後王たちが主に昌徳宮に居住しながら実文祿・慶長の役の時に漢陽(現ソウル)の宮廷が全焼した後、景福宮はその土地が不吉だという理由で再建されず、1610 年(光海 2)昌徳宮が再建されました。その後、昌徳宮は景福宮が再建されるまで 270 余年間、法宮として使用されました。



4 日目の朝ホテルの近くの市場に行きました。市場では日本で売っているスイカとは違い面長なスイカが売っていました。また、かたつむり、豚の顔や豚の切り身がぶらさがっていました。また、食用の犬が売っていました。犬は犬がそのまま蒸されたやつがそのままケースの中に入っていて、驚きました。また、切り落とされているものもありました。食用の犬の肉は健康にいいらしく、主にお年寄りの方が健康のために食べるそうです。日本ではないものだと思います。

市場の中には洋服や魚、野菜、唐辛子、果物、鶏の足、韓国のりなどさまざまな物が売っていました。市場の中には屋台のような食べる場所もあり、トッポギ、スンデ、キムパ（海苔巻き）、オデンを売っていて、昼間からお酒を飲んでいるおじさんがいました。オデンは日本のおでんとは違い、串に油揚げを

さしてあるものをオデンというそうです。市場通り道はとても狭いのに、バイクが通ってちょっと危ないなと思いました。



#### 4、終わりに

今回の高麗大学校保健科学大学短期海外研修を通して、様々な異文化を体験することができました。韓国の市場に行き、改めて日本という国の環境の良さや衛生面の管理について徹底しているなと感じました。また、高麗大学のキャンパスをみて、大学の施設の環境の良さを感じました。高麗大学の中には24時間開いている図書館があり、韓国の学生の学習意欲の高さに驚き、また自分も頑張らなければならないと思いました。